

# 阿津賀志山防塁 奥州合戦

阿津賀志山防塁は文治5年(1189)奥州合戦の際に源頼朝が率いる鎌倉軍による奥州征伐軍を防ぐため奥州藤原氏が築いた防御施設です。

それは、国見町北部の阿津賀志山中腹から阿武隈川沿いに至る3.2kmに及び、おもに並行する2本の堀と土塁からなり二重堀とも呼ばれています。防塁が位置する地域は信濃益地北縁から宮城県境の峠に至る数本の谷の入り口で、阿津賀志山の麓は現在でも東北本線・国道4号・東北自動車道が集

中して通る交通の要所となっています。

古代・中世の主要交通路である奥大道(東山道)も通っていたと考えられ、阿津賀志山防塁は奥大道(東山道)を進軍してくる鎌倉軍を迎え撃つために築かれたことがわかります。おそらくこの付近で進軍路の確保を狙った鎌倉方とそれを迎え撃つ奥州藤原方が激戦を展開したと思われる。

文治5年8月7日に源頼朝が国見駅(藤田)に着き、翌8日から戦闘が開始され、10日の明方の正面総攻撃と鳥取越からの迂回奇襲攻撃により陥落するまで防塁をめぐる攻防が続き奥州合戦最大の戦いとなりました。阿津賀志山防塁陥落後はこれに匹敵する戦いはなく、8月22日には鎌倉軍は平泉に入り、事実上奥州藤原氏の政権は崩壊しました。このことから阿津賀志山防塁をめぐる合戦は鎌倉幕府と奥州藤原氏の命運を分けた天下分け目の戦いとすることができます。

阿津賀志山防塁は昭和56年に国の史跡として指定されました。

阿津賀志山



国指定史跡

# 阿津賀志山防塁

あつかしやまぼうるい

福島県  
国見町教育委員会

TEL 0241-696116

FAX 0241-696117

E-MAIL [info@atsuhashi-jyukai.jp](mailto:info@atsuhashi-jyukai.jp)

〒979-0161 福島県国見町阿津賀志山

## 「吾妻鏡」による阿津賀志山の戦いの前後

年月日	出来事
文治3年(1187)	2月10日 源義経が奥州平泉(岩手県)に入る。
	3月5日 藤原秀衡がかくまわった義経の捜索を開始。
	10月29日 義経を大將軍とし情勢に対応することと遺言し藤原秀衡死去。
文治4年(1188)	2月29日 義経追討の勅使が平泉に派遣。
	12月11日 義経追討の旨が鎌倉に着く。(旨言～朝廷の命令)
	2月22日 源頼朝、奥州藤原氏追討を朝廷に申請する。
	4月22日 奥州藤原氏追討について京で審議。
	4月30日 源義経が藤原泰衡軍に襲われて衣川(岩手県)で死去。
	5月22日 義経殺害との使者が平泉より鎌倉に着く。
	6月13日 義経の首が鎌倉に着き、旨実換。(旨実換～本人の首かどうか確かめる)奥州藤原氏追討の旨言を重ねて京に要請。
	6月27日 鎌倉に参集した軍勢1000人に及び。
	6月30日 勅許なしの討伐を大庭能景が頼朝に進言。(勅許～朝廷の許可)
	7月16日 勅許なしの出陣を頼朝が決意。
	7月17日 奥州追討軍の分担を決定、大手筋は総大将源頼朝、他に東海道軍と北陸軍に分ける。
	7月18日 比企能員を大將軍とする北陸軍が出陣。
文治5年(1189)	7月19日 源頼朝率いる大手軍が鎌倉を出陣。
	7月29日 頼朝軍が白河の関を越える。
	8月7日 鎌倉軍が国見駅(藤田)に到着、畠山重忠の工兵隊が夜に阿津賀志山防塁の一部を破壊。
	8月8日 朝方に阿津賀志山の前で矢合わせ、石那坂では鎌倉軍と佐藤氏が合戦を行い常陸入道念西一族の奮戦で鎌倉方が勝利する。(矢合わせ～戦いを始める儀式)
	8月9日 夜、明朝に阿津賀志山を越えることを決定。
	8月10日 朝、鎌倉軍が総攻撃。夜に藤原方の後方に回った小山朝光等の突如の攻撃で藤原方が混乱し敗走する。
	8月12日 源頼朝が多賀城(宮城県)の陸奥国府に入る。
	8月22日 源頼朝が奥州平泉に入る。藤原泰衡は逃亡。
	9月3日 藤原泰衡が比内郡(秋田県)で討ち取られる。
	9月4日 鎌倉軍284,000人が志波郡陣岡(岩手県)で勢揃い。

※日付は全て旧暦

※「吾妻鏡」とは?

鎌倉幕府の初代將軍・源頼朝から第6代將軍・赤松義満までの変遷が記された鎌倉時代の歴史書。

(左)源頼朝夫人入雲(宇野光厳)の墓(宇野光厳寺福壽寺)



伊達朝宗(常陸入道念西)の像



賀志山の戦いであるといえます。とにわり、その発端は文治5年の阿津

この戦いにより伊達郡に領地を得た常陸入道念西の一族はその直後に伊達郡に移住し伊達朝宗を名乗るようになります。これが伊達氏の始まりであり、天正18(1615)の豊臣秀吉による奥羽仕置まで伊達氏による信達地方の支配が続くことになりました。

「吾妻鏡」によれば鎌倉方の総大将源頼朝は、文治5年(1189)8月7日に国見駅(藤田)に到着し、翌8日の朝方に阿津賀志山の前で矢合わせを行い戦いが開始されました。一方、同じ頃奥州藤原氏配下の信夫佐藤庄司の一族が石那坂(福島市)に陣取り鎌倉方の軍勢を迎え撃ちました。戦いは激戦となりましたが常陸入道念西は奮戦し、佐藤庄司の他に佐藤一族の主だった者を討ち取り、この戦いを鎌倉方の勝利へと導きました。討ち取られた佐藤一族の首は阿津賀志山の麓の経ヶ岡にさらされたといえます。

# 伊達氏と阿津賀志山の戦い